

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立春日部女子高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、今年度見直しを進めている。学校に寄せられる期待に十分応え、女子伝統校としての特色や強みを生かし、目指す方向が明確に示されたものとなるようにしていただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が五つの柱として設定されている。やや網羅的な目標となっているので、普通科と外国語科の併置校として保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から、目指す学校像の検討と併せて、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。「授業で勝負する」等の重点目標を実現させるため、評価項目や方策に一層整合性を持たせ、主となる組織を明確にして組織間の連携を強化するなど組織的な体制を整備していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	前年度に比べ、方策の重点化が図られた。評価指標は、教職員が達成イメージを共有できるように工夫され、方策の達成状況を評価するためのものとして概ね適切である。重点化された方策が組織として計画的に実施されると更に良い。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校改善の有益なヒントを引き出せるように、学校評価懇話会での意見交換をグループ形式で行うなど運営方法等を工夫している。学校関係者の意見やアンケートの結果等を多角的に考察して、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		